

## 森松社内研修2018

本年の研修旅行は二組に別れ、東京組は皇居をはじめ、明治神宮、靖国神社、浅草周辺など都内を周り、島根・広島組は出雲大社、原爆ドームや厳島神社などを訪れました。天候にも恵まれ、両組共充実した研修旅行となりました。



## 経験のなせる技

森 直樹 (代表取締役)



どんな人でも、ある作業を繰り返すこと  
で経験が増し、速度をあげてもおかつ精度が  
高く出来るというのを経験したことがあるかと  
思います。ところが、経験があるが故に簡単な  
こともミスをしたりすることがあります。そう、  
「思い込み」です。一見して過去の経験からわか  
ることは、全てがその過去のものと同様に受け  
止めてしまったりします。実際は細かな違いが  
そこにあつたり、よく見てみると全く違う内容  
だったりします。そこで経験が有るからこそよ  
り慎重になる必要があつたり、自分自身が間  
違って思い込んでないかの確認をしなければな  
りません。そして、場合によっては経験よりも  
データが頼りになる場合もあります。とある機  
械メーカーは、定期的なメンテナンス担当者  
点検した結果、定期的なメンテナンス担当者  
に付けた振動を感知するセンサーの各部分に取  
り付けたセンサーが故障予測を割り出せるように  
したところ、メンテナンス担当者の予測よりも正  
確に故障の時期が予測出来たそうです。今後も  
この様な事例と同様に、センサーの活用とデー  
タの積み重ねにより、経験の積み重ねで、よ  
り正確な判断が出来るでしょう。私達の生活で  
も、それは人間の活用する場面が増えていきま  
す。それは人間の活用する場面が増えていきま  
す。出来なくなるというのではなく、より人間が  
仕事を失うようになるというのではなく、より  
人間が仕事を失うようになるというのではなく、

# サードオピニオン

吉岡 孝記 (営業部)



以前の波紋にも書きましたが、約1年程前に副鼻腔炎を発症し、近所の耳鼻科へ行ったが治してもらえずセカンドオピニオンで2件目の病院に行き信頼出来そうな先生に出会い安心して治療を続けました。一向に良くならず再度CTを撮りましたが、ポリープが2つ、あまり改善されおらず、最終手段で手術をしようと言われました。当初はカテテルを使い日帰りで出来ると聞いていましたが、1週間入院してくださいと言われ話が違いました。また、当院では手術ができない為、病院を紹介すると言われました。なんやそれ、まるなげかい、何か納得が行かず、サードオピニオンを決意し3件目の病院へ経緯を説明、手術が1日で出来るなんて有り得ない、全否定から入りまたもやCT検査何回やるの、また、難病の可能性もあるという事で血液検査もしました。1ヶ月後結果を聞きに行くと、大当たり、難病でした。残念。少し頭が真っ白に、白髪では有りませぬ。病名も忘れましたが、治療に時間がかかりますよと言われ、この一年間はなんだったんだろうと思ふと腹が立つ、誰を信じればいいのかわからない。4件目はないことを祈り、投薬治療スタート気長にやります。

# とうかさ

安井 浩二 (企画営業部)



6月1〜3日と島根、広島と慰安旅行に行きました。二日目の広島にて市内の中心部で夕食会場へ向かったところ町中が大賑わいのお祭りでした。お祭りは広島三大祭りに数えられる「とうかさ大祭」でした。それは広島市中央区にある圓隆寺の総鎮守である「稻荷大明神」のお祭りですが、なんで「とうかさ」？調べてみましたら御神体である「稻荷大明神」は法華経の守護神で稻荷を「いなり」と唱えず、音読みで「とうかさ」と呼んだのが語源だそうです。その圓隆寺への参拝は長蛇の列のため断念。その脇で破魔矢ならぬ「破魔うちわ」を販売されており、家内安全、商売繁盛、開運招運とご利益がありそうなので千円で購入しました。その後、夕食会場を出たらメインの中央大通りは歩行者天国になっており、さらに賑わっていましたので散策。人混みも凄かったです。露店の数も凄い(千軒も並ぶそうです)また、このお祭りの別名は「ゆかたの着始めまつり」と言われるそうで、大半の女性が浴衣姿で、とても艶やかでした。他には浴衣コレクションショーや和太鼓、ダンスなどの多彩なイベントもあり楽しめました。出雲大社も足立美術館も大和ミュージアムも初めてでしたが、名古屋には無い？予定外の一足早い夏祭りを体験できました。あらためまして旅行委員会の皆さんお疲れ様でした。楽しい旅行をありがとうございました。



# 感謝

稲葉 善貴 (森松産業)



今年の3月に息子が所属していた少年野球チームを卒  
団しました。小学2年生から約5年間、毎週土・日曜と  
祝日の8時〜16時まで練習や試合に参加してきました。  
息子が所属していたチームは学年によってA・B・C・  
Dとわかれていましたが、息子の学年は3人しか集まら  
ず下級生の子どもたちと協力してもらおうことで練習や試  
合をすることができました。入団した頃はキャッチボー  
ルやバットを振ることもままならず、練習や試合でもな  
かなか良い結果が出せず悔し涙を流すこともしばしばあ  
りました。それでも自主的に一日百回の素振りや筋トレ  
など努力を積み重ねていました。そのおかげで次第に結  
果を出せるようになり監督、コーチ、チームメイトから  
も信頼されるようになりました。5年間本当によく頑張  
りました。そしてその息子やチームを陰で支えてくれた  
妻とチームメイトのお母さんたち、ご指導してくださっ  
た監督・コーチの皆様から感謝しております。息子  
たちが卒団し新体制となったチームは30周年をむかえる  
ので、なにか恩返しができるばと思っております。



# 鍵

大橋 康成 (配送部)



自宅の鍵をなくしたら如何しますか。探しますか？  
合いかぎを作りますか？ラジオで話題になってまし  
た。今ではあらゆる製品に鍵が使用されています。車  
や住宅、金庫ロッカー、大切な財産や情報を守るため  
にも、鍵の存在は重要です。紛失した際に発生する状  
況として、自宅近辺で鍵を落としてしまった場合、侵  
入窃盗犯の手に渡ることがあります。落ちていた鍵を  
近隣の方が交番へ届けてくれることもありませんが、  
拾った人間が悪意ある人物であれば、それを悪用する  
ことは簡単です。犯人が住宅へ侵入した場合、盗難の  
みならず最悪は傷害事件にまで発展する危険性があり  
ます。スペアキーを使用すれば大丈夫と思われる方も  
いるかもしれませんが、鍵を交換しないということは、  
玄関を開ける鍵がもう一つあるという非常に危険な状  
態です。金庫内部のお金や財布、保管してある身分証  
などを盗まれてしまえば、大きな損害を被ります。社  
内で鍵を紛失した場合は、責任に問われること以外に  
も、同僚をはじめとして、職場の雰囲気や関係が悪く  
なってしまうこともあります。まず鍵を探すことが大  
切です。いつも入れているカバンやポケットなどに鍵  
がない場合、どこかで落としてしまったことが考えら  
れます。その日の行動を思い返しどの場所が紛失した  
のかを探していきましよう。やみくもな探し方をする  
よりも心当たりのある場所を確実に探すことが正しい  
見つけ方です。

## バスケットボール

則武 恵秀 (特販部)



私は10歳からバスケットボールをしており、大学までバスケット漬けの日々でした。私の思うバスケットボールの魅力は攻守の切り替えが早く、通常のスポーツに比べて得点が多く入る点や、激しく動く中であるの小さなリングにボールを入れる繊細さなどが魅力だと思います。バスケットボールを始めたきっかけはスラムダンクです。夏休みにいつも再放送を見ていました。それに出てくるシューター（遠くからシュートをする人）の三井というキャラクターに憧れたのが始まりです。中学時代からは、憧れていたシューターを務めてました。シュートを決めた時の感覚は気持ち良く、皆さんにも味わってもらいたいです。また、私は3月頃から安城市のリーグでバスケットボールをしており、二部のIDEALというチームでプレイしています。最近ではリーグ戦があり、初の一部に昇格しました。とてもハードですが楽しいスポーツだと思います。皆さんも機会があれば観戦してみたり、プレイしてみたいかかでしょうか。



## 子供の成長

新聞 由雅 (特販部)



まず初めに、家族忘年会でも自己紹介をさせていただきましたが、去年の8月に入社をしました、特販部の新聞由雅と申します。我が家には、中学3年生になる息子が一人います。子供が小学2年生のときにPTA役員に選ばれ、それがきっかけで、男の子2人を持つお母さんと仲良くなり、家族ぐるみでお付き合いが始まりました。子供たちが小学3年生になった年の冬に、初めてみんなで東京ディズニーランドと、デイズニーシーへ一泊旅行に行き、それから毎年、ハロウィンやクリスマスなどのイベント時を狙って行く毎年恒例の行事になりました。最初にみんなで行ってから早7年、子供たちも大きくなり、男の子から男子へと成長していく過程が著しく早く感じます。この先、いつまで一緒に行動を共にしてくれるかを考えると寂しさもありながら、日々成長していく息子の姿を見て、嬉しさを感じる部分もあります。これからも、この様な家族ぐるみのお付き合いができる環境を大切にして行きたいと思えます。

